

整理番号	
------	--

記入例

アーリーイーグル研究支援制度申請書

2026年 ○月 XX日

総合研究所 所長 殿

※太枠内を記入ください。

申 請 者 に 関 す る 事 項	フリガナ	アオヤマ タロウ				
	申請者氏名	青山 太郎				
	所属	文学研究科 英米文学科専攻				
	学年	D1	・	D2	・	D3
	学生番号	*****				
	メールアドレス	****.****@gmail.com				
	電話番号	080-****-****				
	研究費を受けようとする研究の課題名	19世紀イギリス小説における産業革命の影響と労働者階級の表象				
	研究区分 (該当するものに○)	人文	社会	自然・工学	その他 ()	
	現在行っている主な研究テーマ (具体的に記入してください)	19世紀のイギリス文学は労働者階級の生活や困窮を描写することで、社会問題に光を当ててきた。19世紀文学作品から当時の労働環境等を紐解く。また労働者階級の困窮を描いた作品が、どのように読者の意識を高め立法や社会改革に寄与したかを探る。 キーワード : #産業革命 #労働者階級 #19世紀イギリス文学 #リアリズム #社会問題小説				
本制度の申請歴 (年度、内容等)	「19世紀の働き方：イギリス小説から見た労働環境」 2024年度アーリーイーグル研究支援制度応募（不採択）					
研究 経 費	【1】設備備品費 ※設備備品費:1点20万円以上の物品	0円				
	【2】消耗品費	100,000円				
	【3】旅費	250,000円				
	【4】謝金 ※人件費の使用はできません。	30,000円				
	【5】その他	20,000円				
		合計	400,000円			

1. 研究内容（研究目的・意義）

研究の目的や学術的意義（重要性）について、具体的に記述してください。

研究目的

本研究は、19世紀イギリス小説における産業革命の影響と労働者階級の表象を分析することを目的としている。具体的には、産業革命という歴史的変革が文学のテーマや登場人物の描写にどのように反映され、特に労働者階級がどのように文学的に表象されたかを解明する。また、これらの表象が読者や社会にどのような影響を与えたかについても検討する。

研究の意義（重要性）

1) 歴史的・社会的意義：産業革命はイギリス社会の基盤を劇的に変えた歴史的出来事であり、その影響は文学にも広く及んでいる。本研究は、文学作品を通じて産業革命期の社会問題（労働環境、貧困、階級闘争）を再考し、当時の社会状況を文学的視点から理解する手助けを提供する。

2) 学術的意義：労働者階級の表象に焦点を当てることで、19世紀イギリス文学の中でしばしば中心的な役割を担うテーマについて新たな知見を提供します。さらに、文学と社会変革の相互作用を研究することで、文学の役割や価値を再評価する貢献が期待されます。

2. 研究計画（研究プロセス・達成目標）

研究費を受ける1年間で、何をどのように行い、研究成果としてどこまで達成しようと思うか、具体的に記述してください。

以下に研究計画を記載する。

(1) 資料収集とレビュー（1~3ヶ月目）

1~3ヶ月目については、必要文献を購入し、情報収集を行う。その際、学術データベースを活用し、関連する研究動向を把握する。目標としては、研究の基盤となるデータと背景情報の整備、加えて、産業革命や労働者階級表象に関する研究課題の位置付けを明確化する。

(2) テキスト分析（4~7ヶ月目）

4~7ヶ月目については収集した一次資料に対して、批評理論（リアリズム批評他）を用いたテキスト分析を実施する。労働者階級の登場人物の描写やストーリー展開を重点的に検討し、作家ごとの特徴や共通点を明らかにする。分析対象を3作品に絞り、各作品における労働者階級表象の違いとその理由を議論する。目標としては、テキスト分析を通じて、研究テーマに沿った具体的な成果を得ることに加え、分析結果を学術論文や学会発表資料の形で整理することがあげられる。

(3) 成果発表と執筆（8~12ヶ月目）

11月に開催される国際学会での発表を目指し、研究成果を英語でまとめる。分析結果をもとに、論文執筆を進める（1本は査読付き論文投稿を目指す）。国際学会発表後に得られたフィードバックを基に研究内容をブラッシュアップする。国際学会での発表および査読付き学術論文1本の執筆・投稿を目標とする。

3. 研究経費

研究費の主な使途（研究計画と関連付けて具体的に記述してください。特に設備備品費で購入する物品がある場合には、物品名と金額を記載してください。）

■消耗品費：100,000 円

書籍・資料の購入（80,000 円）

研究対象となる 19 世紀イギリス文学の図書（小説、文芸評論、歴史書など）他。
文房具・研究用具（20,000 円）

データ収集・整理のためのノート、プリンタ用紙、インクカートリッジ他。

■旅費：250,000 円

学会参加のための旅費@オーストラリア、シドニー（11 月上旬、4 泊 5 日）

航空券代：150,000 円（往復エコノミークラス航空券）。

宿泊費：50,000 円（1 泊 12,500 円 × 4 泊、学会期間中）。

現地交通費：20,000 円（空港送迎や市内移動のための交通費）。

日当：30,000 円（1 日 5,500 円 × 4 日間）。

■謝金：30,000 円

研究協力者への謝金（英文校正）

対象者：英語での論文執筆やプレゼンテーションに対する助言を提供してくれるネイティブスピーカーや編集者。

英文校正費：1 回 10,000 円 × 3 回 = 計 30,000 円。

■その他：20,000 円

通信費

研究データの共有や国際学会関連の連絡のための通信費（例：オンライン会議用プラットフォームの利用料金）。

印刷・製本費

学会発表資料（ポスター、ハンドアウト）の印刷および製本費。

内訳：印刷費（A3 カラー）1 部 500 円 × 30 部 = 15,000 円。

4. 本研究に関連して発表した主な研究業績（投稿中、発表予定も含む）

申請者の青山は、これまで～～問題、とりわけ▲▲文化が社会にもたらしてきた◎◎をテーマに、研究に取り組んできた。

研究業績は以下のとおり。

青山太郎 (2023) 「●●が△△に与える影響に関する実証分析」、日本★★学会2023 年度秋季大会（2023年9月14日～15日）、■■大学##キャンパス

5. 現在受けている奨学金や外部資金

●●文学財団 「●●文学財団」第▲期～～研究助成

2023年度 80万円/1年間

6. その他参考となる事項、希望事項、補足事項等があればご記入ください。

現在、院生助手としても活動を行っている。エフォート上、本課題の遂行は問題ない。

※適宜枠線を広げ図表を入れても構いません。